

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3873600377
法人名	株式会社新風会
事業所名	グループホーム白雲
所在地	愛媛県大洲市白滝甲669番地4
自己評価作成日	平成24年7月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成 24 年 7 月 25 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設のフロアの大きな窓からは、ゆったりと流れる肱川を眺める事が出来、周囲の自然から季節の移ろいを感じることが出来ます。
毎日の生活リハビリを行うことにより、皆さん元気に、明るく、楽しく生活できるように教育機関との交流、ボランティアの方の来所、季節毎の行事など、職員は支援しています。
地域のうら盆祭りには、笹飾りを作って、毎年参加しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

高台にある事業所のリビングの広い窓からは肱川等の自然豊かな景色が一望でき、利用者は四季の移ろいを感じながら過ごすことができる。利用者一人ひとりに無理のない目標を持ってもらい、それが実現できるよう支援している。開設から8年目を迎え利用者の多くが90歳代となっているが、リビングからは元気な笑い声が聞こえてくる。看護師でもある管理者は、地域医療に力を入れている協力医療機関と連携をとって医療的ケアの支援を受けながら、職員と共に利用者へのサービスの向上に努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I.理念に基づく運営
- II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名	グルループホーム白雲
(ユニット名)	第1ユニット
記入者(管理者)	
氏名	丸本真由美
評価完了日	平成24年 7 月 1 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 「ゆっくり、ゆったり、笑顔ある生活を」を理念に介護にあたり、各ユニット毎に目標を上げている。人権の尊重、自立支援、住み慣れた地域での生活の継続、地域交流を行い実践できるように取り組んでいる。	
			(外部評価) 法人全体の理念とは別に、事業所や利用者の状況に合わせて具体化した言葉をユニット毎に掲示している。サービスに直結した理解しやすい言葉にしているため、職員の理解や共有化ができ実践に繋がっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 「白雲茶屋」に来ていただいたり、地域の祭りへの参加、教育機関との交流、婦人会の方との交流。地元の美容院利用や商店への買い物。近所の方と挨拶を交わして、顔を覚えてもらっている。	
			(外部評価) 事業所は肱川を見下ろす高台の集落にあり、近隣とは散歩でのあいさつや行事への参加など、日常的に交流がある。ご近所からも福祉の相談窓口として頼りにされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 「白雲茶屋」に来ていただいた人や、ボランティアに来てもらった人に、認知症の人の理解や支援について話をする機会をもっている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) 2か月に1回行って、議事録を掲示している。 毎月の行事、利用者さんの生活状況等報告して、助言 等もらっている。区長さんから地域行事の情報、他 グループホームの取り組みなど参考になっている。 市の職員さんからの介護保険情報等、勉強して、 サービスの向上に活かすようにしている。	
			(外部評価) 会議では事業所の状況を詳細に伝え、参加者からの意 見は運営に反映させている。管理者は事業所のケアの 質を高めようと真摯な態度で取り組んでおり、それが参 加者にも伝わって有意義な会議となっている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 市のサービス担当者会に出席している。本年度より 大洲市グループホーム連絡会が結成されたので、連携 をより図れると思う。 ケアプランを提出して、助言をもらっている。 生活保護担当係りの方との連絡。 介護保険更新認定申請書の提出や家族への連絡。	
			(外部評価) 市担当者とは、利用者それぞれの介護計画を通して具 体的な話し合いが持たれている。単なる書類提出だけ ではなく、介護計画の内容について細やかな意見交換 が行われ、密な関係が築かれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関は日中、施錠していない。身体拘束もしていな い。 身体拘束マニュアルを作成して、禁止となる具体的な 行為について勉強会をしている。	
			(外部評価) 車いすでの拘束はもとよりベッド柵にいたるまで身体 拘束しないケアを実践している。事業所の前は急な坂 道があり利用者が不意に出ると危険ではあるが、身体 拘束をしないケアを優先させ、玄関は夜間の防犯対策 を除いては施錠はしない。マニュアルをもとに法人全 体で勉強会を定期的に行っている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 市や、県の研修会へ参加して、事業所内で勉強会をしている。職員同士が、互いに気を付けている。管理者は、職員の精神状態にも気を配るようにして、虐待防止に努めている。また、新聞等の記事など、カンファレンスの時に周知するようにしている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 成年後見制度を利用している方への、必要時の連絡支援をしている。 市や、県の研修会への参加。 本年度、法人内研修会を予定している。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 管理者が、書面をもって、わかりやすく、丁寧に説明している。一方的な説明にならない様に、不安や疑問点を必ず尋ねている。改定時も、新しく書類を作成して、同様に対応している。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 契約時に苦情相談先について説明している。意見箱の設置。面会時に、世間話等含め、話をしている。家族会では、職員は席を外して、家族さんだけで話す時間をもっていただいている。利用者の言葉や、日頃の様子から意見や要望をくみ取るようにしている。家族の要望が周知する様利用者ノートを作成している (外部評価) 入居期間の長い利用者が多いため、職員は家族との付き合いも長く何でも話しやすい関係にある。家族の面会の時や、毎月利用者の状態を家族に手紙で知らせる時など、意見や要望を出しやすい機会を設けて、意見などを運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 代表者は施設訪問をして、職員の意見等聞く機会を持っている。また、副部長も定期的に施設訪問して月1回のホーム長会議で、話し合いの場が設けられている。業務カンファレンスで意見交換ができる。	
			(外部評価) 管理者は、職員が意見や提案をしやすいよう積極的にコミュニケーションをとっている。管理者がつなぎ役となり、出された意見は法人の会議で話し合われ、運営に反映されている。代表者も事業所を訪問し、職員の意見等を聞く機会を作っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 代表者が施設訪問をしてくれることにより、より実情を理解して、職場環境・条件の整備に努めてもらっている。研修に参加する機会、昇進する機会がある。時間外手当、資格給の支給。産休、育児休暇の後、職場復帰が可能である。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 習熟度に合った研修会、法人内外の研修会に参加している。参加職員は、勉強会で発表して、他職員も理解する様、資料に目を通してしている。介護支援専門員、介護福祉士の資格試験への挑戦。ヘルパー講習を受講出来るように、勤務時間の調整支援。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 県地域密着型サービス協会に加入し、研修会等に参加。 大洲市グループホーム連絡会に加入し、他グループホームとの情報交換、交流。他グループホームへの運営推進会議へ参加している。	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 事前調査に伺い、本人の不安が軽くなるよう、話をよく聞くようにしている。また、見学が可能な人には来所してもらって、利用者職員と話したり、お茶を飲んでもらったりして、雰囲気を感じてもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 事前調査に同席していただき、家族の話をしっかり聞くようにしている。納得されるまで説明を行い安心してもらえるように取り組んでいる。 要望は必ず伺っている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人、家族の話をよく聞いて、担当のケアマネジャーさんとも相談しながら、適切なサービスを検討している。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 出来ること、好きなことを見守ったり、一緒に行ったりして生活している。「ありがとう」の言葉を忘れないようにしている。人生の先輩として、教えていただく事もある。自然に、喜怒哀楽が表わせるような関係を作っている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時、コミュニケーションをはかり、信頼関係を築いている。利用者にとってのいい支援を、家族と一緒に、協力しながら支えている。面会や、外出のお願いをすることもある。毎月の新聞、担当者の手紙の送付、電話での近況報告など、絆が途切れない様関わっている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族以外の方がホームに来られることは少ないが、親戚や、馴染みの人が面会に来られた時は、快く受けいれている。地元の行事へ参加する事により、馴染みの人に声をかけてもらった。また、ドライブを利用しての故郷訪問をしている。毎年、知人に年賀状を書いている人への支援。 (外部評価) 利用者の高齢化や重度化があるが、できる限り今までの馴染みの人や場所との関係が継続するように支援している。事業所の行事を地域に案内し白雲茶屋の開催など、多くの方に訪問してもらい、新たな関係づくりの構築に力を入れている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 相性の良し悪しを考え、席の配置を決めている。 難聴の人には、職員が間に入り、会話を取り持つ。 それぞれに役割分担があり、協力して生活している。 昼食後は、窓側、畳の所で椅子を並べて、足挙げして休んだり、テレビを一緒に観たりしている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院をされた場合は、お見舞いに行っている。 お亡くなりになった場合は、お悔やみに行っている。 必要に応じて以前の担当ケアマネジャーさんに連絡して相談や、支援のお願いをしている。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日常生活の中での会話や、行動や表情から、本人の思いや考えを察して、記録に残して、ケアカンファレンスで共有している。	
			(外部評価) 職員は利用者を理解することが重要であるとの共通認識があり、生活歴などの聞き取りに力を入れている。申し送りノートや引き継ぎ等で情報を共有化し、全ての職員が一人ひとりの思いや意向を理解するように努めている。	開設から8年が経過し利用者の状態も落ち着いているため、それぞれの職員が把握している情報を確認し合う取り組みを期待したい。新たな利用者像を発見し、ケアの質の向上につながるよう、口頭でなく文章で再確認することが望ましい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 訪問時のアセスメントや情報提供書などから、職員が理解できるようにしている。 本人についての、できるだけ多くの情報を集めてその人らしい生活ができるように努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) その人の出来ることを一緒にしながら、気持ちや動作の様子など記録に残して申し送りをしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<p>(自己評価) 利用者の事を第1に考え、残存能力を生かせるよう本人、家族と話せる時間を持って、介護計画を作成している。</p> <p>(外部評価) 利用者ごとに担当職員がおり、利用者や家族の聞き取りと日々のケアでの気づきを踏まえて介護目標を立て、ケア会議で職員全員が話し合っ、介護計画を作成している。</p>	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<p>(自己評価) 個別の介護記録に、一日の様子を記録している。介護日誌や申し送りノートに全員が目を通して読んだらサインの習慣をつけている。受け持ち担当者が、ケアカンファレンスで発表してプランの検討をしている。</p>	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<p>(自己評価) 変化があった場合は、カンファレンスで課題にしてその都度対応している。本人家族の希望等で、療養マッサージの受け入れをしている。</p>	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<p>(自己評価) 利用者に合わせた外出や、外食を行ったり、地域のボランティアの方に来ていただき、楽しんでもらえるように計画を立て、支援している。読み聞かせボランティア、保育所、小学校との交流。</p>	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 入居時に、家族の同意の下、母体診療所の医師の往診 を月2回受けている。 専門医の受診の場合は、職員が同行している。 受診に協力してくれる家族もいる。 往診や受診結果は、必要時家族に連絡している。	
			(外部評価) 地域医療に力を入れている協力医は、利用者の信頼も 厚く全員のかかりつけ医となっている。かかりつけ医 の定期的な往診が利用者や家族等の安心感を高めてい る。かかりつけ医が中心となり、専門的な科目や総合 病院への診察なども適切に行われている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 毎日、健康状態の観察、経過記録をつけている。 医療連携看護師に連絡して、受診、往診等対応して いる。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 母体診療所に入院できる体制をとっている。 入院時は情報提供書を書いている。 お見舞いに行って、その都度、主治医に経過を伺い 退院が近づくと受け入れ準備をしている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 重度化のレベルに応じて、その都度、本人、家族 主治医と方針を共有するようにして、最期の 意向も伺っている。 指針を作成して、入居時、家族会等で説明して 同意を得ている。	
			(外部評価) 看護師でもある管理者は、自らの経験からターミナル ケアには家族等の協力が不可欠と考えて、利用者の状 況に合わせて家族に詳細な説明を行い意思確認をする など、支援に取り組んでいる。	開設当初にターミナルケアの経験はあるが、不安を感じ ている職員もいるため、法人全体で実体験のある職 員などから現場での対応等について具体的な指導を受 けて、ターミナルケアの一層の体制づくりに期待した い。

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 消防署職員に、救急救命講習を定期的に受けて、発生時には対応できるようにしている。 事故発生時のマニュアルを作成している。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 災害時のマニュアルを作成して、消防署立会いのもと訓練を行い、利用者に負担のかからない搬送方法など学んでいる。 地域の方にも協力を依頼している。 (外部評価) 敷地に接する道路が急こう配で徒歩や車いすでの避難が難しいため、非常時に対応できるよう災害対策には特に力を注ぎ、地域の自主防災組織との連携や訓練等を定期的に行っている。近隣に高齢者が多いため、事業所が地域の避難所として協力できるよう訓練している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) オムツ交換時には、プライバシーに配慮しカーテンを閉めたり、トイレ使用時には、戸口の外で様子をみせていただいたりと、利用者に合わせた対応をしている (外部評価) 利用者の子供世代の職員が多く、「親に対する感謝の気持ちでケアを行う」ことを大切にしている。職員は親しみのある方言で利用者と和やかに話し、一人ひとりの尊厳やプライバシーに常に配慮しながら対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 職員の思いを押しつけない様に、利用者のペースに合わせた声掛け対応をしている。 食べたい物や、出かけたたい所等尋ねている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりの状態を確認しながら、生活のリズムを大切にして、自分のペースで過ごしてもらっている無理強いはいらない様にして、笑顔の声掛け、見守りをしている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 出張美容院を利用している。 外出や更衣する時には、一緒に服を選んでいく。 季節に見合った外出着で出かけるようにしている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食材を切ったり、洗ったり、食器拭きを手伝ってもらっている。旬の食材を使用した献立を作ったり季節を感じられるおやつも作っている。誕生会や行事等では、好みの物を聞いて作っている。	
			(外部評価) 法人全体で食事の栄養面を管理している。事業所では利用者の状態に合わせて、刻み食などアレンジを行っている。準備や後片付けができる利用者は多くはないが、職員と一緒にテーブルを囲んで会話を楽しみながら、和やかな食事の時間となっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一日の食事量、水分摂取量を記録している。個々の食べる量を把握して、提供の仕方に気をつけている粥食、刻み食等。毎月の体重測定, BMI。 水分摂取量の少ない人には、好きな飲み物をすすめたり、果物をだしている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食後の歯磨きは、声掛けをして、見守りの必要な人介助の必要な人等、職員で分担して、口腔ケアを行っている。 週1回、ポリデントをしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 一人ひとりの排泄パターンを把握している。オムツの利用者さんも、日中トイレ誘導をして、排尿、排便を促している。トイレの場所がわからない人、排泄方法がわからない人など、さりげない介助、誘導、見守りをしている。尿取りパット、リハビリパンツ等使いわけている。	
			(外部評価) 昼間はできるだけトイレでの排泄を支援しており、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握して、声かけや誘導を行っている。利用者の生活の質を第一に考えながら、排泄の自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 排便チェックを行い、情報を共有している。牛乳などの摂取、腹部マッサージ、必要時薬の内服など、個々に応じた対応をしている。毎日、健康体操、ラジオ体操を行っている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴日は決まっていないが、午前と午後にかけて入ってもらっている。好みのお湯の温度や入浴時間等個々に応じている。ゆっくりと、コミュニケーションをはかりながら、歌ったり、会話したり楽しみながら入浴している。洗身や更衣など、自分でできることは見守りながら、出来ないところを介助している。	
			(外部評価) 温度や時間帯など利用者の希望を聞きながら、心地よく入浴できるよう支援している。座位が難しい利用者には、2名介助で対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 日中、体操、手伝い、レクリエーション等して生活されていて、生活のリズムが出来ているので、夜間安眠できている。一人ひとりに合わせて、日中、休息もとれている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 医師の指示通りの服薬支援を行っている。 経過記録で一人ひとりの薬を、理解していて、症状の変化にも気を付けている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 食事作りの手伝い、食器拭き、洗濯物干し、たたみ、2Fへの新聞取りなど、役割をもっている。 月毎の行事を計画したり、ボランティアの方に来てもらったりしている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 買い物の希望がある場合、外出することもある。 自宅へ帰りた場合、家族に連絡して外出支援している。 季節に合わせて、中庭でおやつタイムを過ごす。	
			(外部評価) 庭先から肱川が見下ろせ山並みも見えるため、日常的に外気浴を楽しめるよう支援している。買い物などで近隣へ出かけたり、家族に協力をお願いして遠方へ出かけるなど、できるだけ外出の機会を増やすよう努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 個人で財布を持っている人もいる。 以前に比して、買い物に出る機会も減ったが、支払をする時は、そばについて見守り支援をしている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族や知人に年賀状を書く支援をしている。 手紙の代読や、代筆。 家族からの電話の取り次ぎ支援。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) フロアの大きな窓からは、ゆったりと外の景色が見えて、空調や音の刺激等にも気をつけている。季節毎の壁面の貼り絵や、花を飾っている。	
			(外部評価) 事業所は手入れや掃除が行き届き清潔感がある。リビングは、南側の広い窓から緑豊かな風景が眺められ、心地よい自然光や風を感じることができる。広い食堂につながって畳スペースがあり、ゆっくりくつろげる共用空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 昼の所で過ごしたり、窓際に置いている椅子に座ったりして、好きに過ごしてもらっている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) テレビや、ロッカー、椅子など個人の必要な物、好みのもを入れてもらっている。位牌や写真を置いている人もいる。ダンスの中にしまいこんでいる人もいて、それぞれ自由に使ってもらおうようにしている。	
			(外部評価) ベッドとダンスは備付けで、利用者の生活スタイルに合わせて小物や家具などが自由に持ち込まれている。レイアウトは利用者の好みで、個性を重視した居室になるように支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下やトイレの手すりの設置。対面式の台所で使用しやすい。玄関には、ベンチを置いて座って靴が履けるようにしている。	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3873600377
法人名	株式会社 新風会
事業所名	グループホーム白雲
所在地	愛媛県大洲市白滝甲669番地4
自己評価作成日	平成24年7月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成 24 年 7 月 25 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>施設の大きな窓から、雄大に流れる肱川を眺めることができ、四季折々に姿を変える山々や、敷地内の桜や紅葉が季節を感じさせてくれます。 地元の保育園児、婦人会の方々との交流や、地域行事のうら盆まつりでは、笹飾りや、作りものを出品しています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>高台にある事業所のリビングの広い窓からは肱川等の自然豊かな景色が一望でき、利用者は四季の移ろいを感じながら過ごすことができる。利用者一人ひとりに無理のない目標を持ってもらい、それが実現できるよう支援している。開設から8年目を迎え利用者の多くが90歳代となっているが、リビングからは元気な笑い声が聞こえてくる。看護師でもある管理者は、地域医療に力を入れている協力医療機関と連携をとって医療的ケアの支援を受けながら、職員と共に利用者へのサービスの向上に努めている。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き生きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名

グループホーム白雲

(ユニット名)

2F

記入者(管理者)

氏名

丸本真由美

評価完了日

平成24年 7月 1日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 事業所の理念『ゆっくり、ゆったり、笑顔ある生活を』を旨として、職員全員が理念を共有して介護をおこなっている。	
			(外部評価) 法人全体の理念とは別に、事業所や利用者の状況に合わせて具体化した言葉をユニット毎に掲示している。サービスに直結した理解しやすい言葉にしているため、職員の理解や共有化ができ実践に繋がっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 隣、近所の人に、施設内行事に参加をしていただいたり、うら盆祭りに参加しており、挨拶などを通して、顔を覚えてもらっている。 地域の美容院や商店への買い物も行なっている。	
			(外部評価) 事業所は肱川を見下ろす高台の集落にあり、近隣とは散歩でのあいさつや行事への参加など、日常的に交流がある。ご近所からも福祉の相談窓口として頼りにされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 婦人会の方との交流や施設内行事を通して、認知症の人の理解を少しでも深めていただいた。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) 2か月に1回行っている。 行事報告、生活状況を報告し、評価、意見、要望、 助言をいただいている。 議事録を掲示して、面会者、職員が目を通して いる。 業カンで報告して、話合っている。	
			(外部評価) 会議では事業所の状況を詳細に伝え、参加者からの 意見は運営に反映させている。管理者は事業所の ケアの質を高めようと真摯な態度で取組んで おり、それが参加者にも伝わって有意義な 会議となっている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くよう に取り組んでいる	(自己評価) ケアプランを提出して助言を頂いており、市 のサービス担当者会議に参加して連絡を密 にしている。 生活保護を受けている利用者の情報交換も 行なっている。	
			(外部評価) 市担当者とは、利用者それぞれの介護計画 を通して具体的な話し合いが持たれている。 単なる書類提出だけでなく、介護計画の 内容について細やかな意見交換が行われ、 密な関係が築かれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準にお ける禁止の対象となる具体的な行為」を正 しく理解しており、玄関の施錠を含めて身 体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関は施錠していない。 身体拘束廃止のためのマニュアルを作成し て全ての職員が目を通して いる。 研修に参加して、勉強会で報告、話し合 っている。	
			(外部評価) 車いすでの拘束はもとよりベッド柵にいた るまで身体拘束しないケアを実践している。 事業所の前は急な坂道があり利用者が不意 に出ると危険ではあるが、身体拘束をしない ケアを優先させ、玄関は夜間の防犯対策を 除いては施錠はしない。マニュアルをもと に法人全体で勉強会を定期的に行っている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 市や、県の研修会へ積極的に参加している。 職員同士が、互いに気を付けている。 言葉の暴力がないように、勉強会等している。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 市や、県の研修会への参加。 事業所内の勉強会。 制度を利用しているかたへの取次ぎ。 必要性のある方への説明をしているが、利用されない。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 見学に来られた時、重要事項説明書にて、管理者が説明し、 時間を取っている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 要望や苦情の申し出窓口がある。 意見箱の設置。 利用者ノートを作成して、家族の要望が職員全員に伝わるようにしている。 運営推進会議での意見交換。 (外部評価) 入居期間の長い利用者が多いため、職員は家族との付き合いも長く何でも話しやすい関係にある。家族の面会の時や、毎月利用者の状態を家族に手紙で知らせる時など、意見や要望を出しやすい機会を設けて、意見などを運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) 月に一回業務カンファレンスを行っておりその場で職員の意見を反映している。ホーム長会議や副部長の訪問時にも意見を取り上げている。</p> <p>(外部評価) 管理者は、職員が意見や提案をしやすいよう積極的にコミュニケーションをとっている。管理者がつなぎ役となり、出された意見は法人の会議で話し合わせ、運営に反映されている。代表者も事業所を訪問し、職員の意見等を聞く機会を作っている。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) 職員の向上心や実績を踏まえて研修会の参加、昇進の機会を設けている。時間外手当がついている。研修会へ参加させてもらえる。産休や育児休業がとれ、職場復帰が可能である。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 毎年、研修に順番に職員が参加できるようにしている。参加職員は、勉強会で発表し、他職員も理解する様、資料に目を通してしている。ヘルパー研修を受講出来るよう、勤務時間の調整への支援。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) 市の、サービス担当者会議に出席して、他のGHと交流の機会を持っている。他GHへの運営推進会議への参加。</p>	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) 事前調査に伺い、本人の不安が少しでも、軽減できるように、話を聞く体制をとっている。入所前にはホーム内の見学等で雰囲気を感じてもらおうようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 家族様が納得されるまで説明を行い、安心してもらえるように取り組んでいる。事前調査に同席して頂き家族様の要望に応えられるようしっかり耳を傾けている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人、家族の話をよく聞いて、担当のケアマネジャーとも相談しながら、適切なサービスを検討している。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) できることを見つけて、見守ったり、一緒に行っている。人生の先輩として、教えていただく事もある。日々の生活を通していろいろな感情を分かち合いお互い支え合っていけるような関係づくりに努めている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族とのコミュニケーションをはかり、協力しながら施設生活が継続できるよう関わっている。毎月の新聞の送付、電話や手紙で知らせている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 友人の方など訪問に来ていただいたら、快く受け入れておりその方との関係が途切れないようにしている。ホームでの行事への参加の案内。故郷への外出行事など行っている。 (外部評価) 利用者の高齢化や重度化があるが、できる限り今までの馴染みの人や場所との関係が継続するように支援している。事業所の行事を地域に案内し白雲茶屋の開催など、多くの方に訪問してもらい、新たな関係づくりの構築に力を入れている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 相性の良し悪しを考え、席の配置を決めている。 難聴の利用者には、間に入って会話をしている。 役割分担を決めて、協力して生活しており、利用者様同士が支えあう場面も見られている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所などの理由で関係を断ち切ることはなく、ホーム以外での会話もさせて頂いている。以前の担当のケアマネジャーさんに連絡して、相談や支援のお願いをしている。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日常生活の関わりの中で、思いをくみ取るようにしている。日頃の会話や、スキンシップ、行動、表情から察している。介護記録に残して、カンファレンスで検討している。面会時に家族様に話を聞き本人様の意向に沿うよう支援方法を検討している。 (外部評価) 職員は利用者を理解することが重要であるとの共通認識があり、生活歴などの聞き取りに力を入れている。申し送りノートや引き継ぎ等で情報を共有化し、全ての職員が一人ひとりの思いや意向を理解するように努めている。	開設から8年が経過し利用者の状態も落ち着いているため、それぞれの職員が把握している情報を確認し合う取り組みを期待したい。新たな利用者像を発見し、ケアの質の向上につながるよう、口頭でなく文章で再確認することが望ましい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 訪問調査時のアセスメント、情報提供書から職員全員が理解するようにしている。本人、家族からも再度よく聞いて、有する力を発揮しながら、その人らしい生活が出来るように支援している。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりの一日の生活の流れを把握している。一緒にすることで、出来る力、分かる力の状態変化に気を付けている。経過観察記録、介護記録に記入し毎日申し送りを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<p>(自己評価) 利用者、家族の意向の確認を行い、月に一回カンファレンスで課題を話し合っている。受け持ち担当者、ケアマネ計画担当者が協力し計画を作成している。モニタリング表に記入、活用に取り組んでいる。利用者様の状態が変化した時は新しい介護計画を作成し、ケアに取り組んでいる。</p> <p>(外部評価) 利用者ごとに担当職員がおり、利用者や家族の聞き取りと日々のケアでの気づきを踏まえて介護目標を立て、ケア会議で職員全員が話し合っ、介護計画を作成している。</p>	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<p>(自己評価) 個別の介護記録に日々の変った事、利用者様の様子、気づきを記入、記録し、申し送りノート等も活用して情報を共有しケアカンファレンスで見直しに活かしている。</p>	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<p>(自己評価) 本人、家族の希望、医師の同意の下、療養マッサージを導入している。希望により近所の美容室の利用が出来るよう支援している。</p>	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<p>(自己評価) 読み聞かせボランティアの訪問。 地元商店への買い物、美容院の利用。 教育機関との交流。 地域の祭りへの出品等、生活を楽しまれるよう支援している。</p>	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 家族の同意の上、母体診療所の医師の月2回の往診 を受けている。本人、家族の希望するかかりつけの病 院があれば受診をするようにしている。	
			(外部評価) 地域医療に力を入れている協力医は、利用者の信頼も 厚く全員のかかりつけ医となっている。かかりつけ医 の定期的な往診が利用者や家族等の安心感を高めてい る。かかりつけ医が中心となり、専門的な科目や総合 病院への診察なども適切に行われている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 毎日、健康状態の観察、経過記録している。 医療連携看護師に連絡して、受診、往診等対応して いる。 病院から健康状態についての電話があり職員は報告を おこなっている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院時には、情報提供書を作成、提出している。 お見舞いに行って、その都度、主治医に経過を 伺って利用者の方が安心して治療できるように努めて いる。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 重度化のレベルに応じて、その都度、本人、家族 主治医と方針を共有する様になっている。 指針を作成して、入居時、家族会等で説明して、 同意を得ている。 看取りについて、勉強会をしている。	
			(外部評価) 看護師でもある管理者は、自らの経験からターミナル ケアには家族等の協力が不可欠と考えて、利用者の状 況に合わせて家族に詳細な説明を行い意思確認をする など、支援に取り組んでいる。	開設当初にターミナルケアの経験はあるが、不安を感 じている職員もいるため、法人全体で実体験のある職 員などから現場での対応等について具体的な指導を受 けて、ターミナルケアの一層の体制づくりに期待した い。

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 消防署指導による定期的救命講習を受けている。 急変時、事故発生時対応マニュアル作成して対応している。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 火災、地震を想定して防災訓練を定期的に行っている。 地域の方々と日常から交流を持ち災害時の連絡網に入ってもらっており強力をお願いしている。 自主訓練も行っている。 (外部評価) 敷地に接する道路が急こう配で徒歩や車いすでの避難が難しいため、非常時に対応できるよう災害対策には特に力を注ぎ、地域の自主防災組織との連携や訓練等を定期的に行っている。近隣に高齢者が多いため、事業所が地域の避難所として協力できるよう訓練している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 利用者様一人一人のそれぞれの性格、人格を理解した上での会話を心がけており、思いやりのある対応をしている。 (外部評価) 利用者の子供世代の職員が多く、「親に対する感謝の気持ちでケアを行う」ことを大切にしている。職員は親しみのある方言で利用者と和やかに話し、一人ひとりの尊厳やプライバシーに常に配慮しながら対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 買い物では、自分好みのものを選んでいただいたり、一緒に選んだりしている。 入浴時の衣服の用意、タンスの中は選びやすいようにしている。 自分から訴えがない方には、会話やコミュニケーションを取りながら自己決定を促している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 生活リズムのタイミングを見て利用者様の状態に合わせて、無理強いはしない様にして、笑顔の声掛け、見守りを行っている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 出張美容院の利用や、希望する美容院へカットや、髪染めの予約を入れている。外出や更衣する時は一緒に服を選んでいる。 季節に見合った外出着で出かけるようにしている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一人ひとりの出来ることにあわせて、食材を切ったり洗ったり、食器拭きを手伝ってもらっている。 旬の食材を使用した献立を作るようにしている。 誕生日会や行事食等、利用者さんの好みの物を聞いて作っている。季節にあった料理をたべてもらっている。	
			(外部評価) 法人全体で食事の栄養面を管理している。事業所では利用者の状態に合わせて、刻み食などアレンジを行っている。準備や後片付けができる利用者は多くはないが、職員と一緒にテーブルを囲んで会話を楽しみながら、和やかな食事の時間となっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一日の食事量、水分摂取量を一目で分かるように記録している。個々の食べる量を把握して、提供の仕方にも気を付けている。毎月の体重測定、BMI。水分摂取量の少ない人には、お茶以外の飲み物をすすめたり、果物等を出している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、歯磨きの声掛けをして、見守りの必要な人介助のいる人等、職員で分担して、口腔ケアをしている。 週一回ポリデントにてにて義歯の洗浄を行なっている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 一人ひとりの排泄パターンを把握している。声掛けして、早目のトイレ誘導をしている。尿意の訴えない人も、リハビリパンツを使用して、トイレで排泄してもらえるように介助している。個々に応じた排泄用品の使用。	
			(外部評価) 昼間はできるだけトイレでの排泄を支援しており、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握して、声かけや誘導を行っている。利用者の生活の質を第一に考えながら、排泄の自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 排便の状態が職員全員に分かるように記録している。リハビリ運動や生活作業を通じし、体を動かす工夫をしている。食事には毎回汁物を付け水分がいきわたるようにしている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 個々の好みに合った、お湯の温度に設定をして、ゆっくりと入浴出来るようにしている。希望する時間帯等考慮している。	
			(外部評価) 温度や時間帯など利用者の希望を聞きながら、心地よく入浴できるよう支援している。座位が難しい利用者には、2名介助で対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 自室の空調調節を行い一人一人にあった温度調節を心がけている。昼間も、利用者様の状態に応じて休息を促している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 朝、昼、夕、眠前と薬を分けて個々に分かるようにしている。定期的に勉強会を実施している。変更があった場合など連絡帳に記載し共通の認識を持つようにしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 掃除、食器洗い、食器拭き、タオルたたみ、洗濯物干し等、毎日みんなで協力して頂いている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 毎回戸外に出るのは難しいが、月一回以上外出できるよう努めている。 外出計画以外の外出の希望には、家族様と外出できるよう支援している。	
			(外部評価) 庭先から肱川が見下ろせ山並みも見えるため、日常的に外気浴を楽しめるよう支援している。買い物などで近隣へ出かけたり、家族に協力をお願いして遠方へ出かけるなど、できるだけ外出の機会を増やすよう努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 買い物の支払いの時は、職員と利用者様が一緒にレジの支払いをして、どれだけの金額を使用したかを理解して頂いている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者が望む時は、電話の取り次ぎを行っている。 手紙の読めない利用者様には利用者様には了承を得て代読している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 室内でも季節を感じられる絵や手作りのカレンダー、歌など展示している。 温度調節や空気の入替えは利用者様の状態に応じて行なっている。</p> <p>(外部評価) 事業所は手入れや掃除が行き届き清潔感がある。リビングは、南側の広い窓から緑豊かな風景が眺められ、心地よい自然光や風を感じることができる。広い食堂につながって畳スペースがあり、ゆっくりくつろげる共用空間となっている。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価) 自分の好きな場所で外を見たりテレビを見たり出来るように椅子を設置したり、庭にも椅子を用意している。</p>	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 配置は本人様の好み、使いやすさを考慮しており各々個性のある部屋作りをしている。 家族の方や本人様の好きな写真、置物など自由に置かれている。</p> <p>(外部評価) ベッドとダンスは備付けで、利用者の生活スタイルに合わせて小物や家具などが自由に持ち込まれている。 レイアウトは利用者の好みで、個性を重視した居室になるように支援している。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価) 月日やスタッフの名前がわかるように目につくところに表示してあり、室内の段差もなく手すり等を利用して安全に生活していただいている。</p>	